

電報司の副理事長に渡田が去郎と横溝が親地
に兼任し本部を神戸市栄町六丁目六番館
に置く

南東市同担金は横溝理事長の審判あり

方針として指し示すなりと理事長は漸次増加
し組合費一円七角を扱ふなり

(内) 卸販存社 昭和34年

存社側は別に意見無き通し 協 調 會 採 取 済 済

関之々 去九月十日三十日甲夜部及の

村岡部 等を通じて 卸販存社 協 調 會 迄

挨拶し 終之なり 全量は 個 別 一 一 存 社

但々名新 在 取 引 水 火 夫 等 協 調 會 迄 在 其 之 在 存 社 迄

(2)

両者以之の性質を異にし 其の事業に於て
競争的と為る異あり 卸販存社 協 調 會 迄
目下海産組合例は 協 調 會 迄 目して 存 社 の
信用関係等より又 協 調 會 迄 例は 海 産 協 會
と 協 調 會 迄 例 同 様 目 之 似 し 両 者 協 調 會 迄 上 也
疎 隔 一 界 迄 在 り